

(社) 日本建築学会 近畿支部
2010 年度第 6 回空気環境部会議事録

日時：2011 年 3 月 11 日（金）14:00~17:00

場所：キャンパスポート大阪 ルーム E

出席者：阿部、イム、甲谷、古賀、檜崎、藤田、
山中（主査）、桃井（幹事）、東（実）（幹事、記録）

資料：・議事次第	資料 6-1
・2010 年度第 5 回空気環境部会議事録(東幹事)	資料 6-2
・平成 22 年度空気環境部会予算執行報告書（桃井幹事）	資料 6-3
・山村邸換気量の試算結果（山中主査）	資料 6-4
・24 時間自然換気住宅の測定（秋季）（桃井幹事）	資料 6-5

議事：

- ・ 前回議事録（2010 年度第 5 回）が承認された。[資料 6-2]
- ・ 平成 22 年度空気環境部会予算執行の内容が報告された。[資料 6-3]
- 1. 24 時間自然換気住宅の温湿度測定結果の考察
 - ・ 資料 6-4 に基づいた議論の一部を以下に示す。
 - 前回、差圧で試算した内容を、換気量に変換して算出した結果が示された（壁下部から流入、ダクト上部から排気される方向を正）。夜間の換気量は正の割合が多い傾向があるが、温度の投入条件等により結果が異なる。
 - 試算条件の前提に関する質疑応答があった。
 - 温湿度データのみで予測するのは難しいので、換気量測定を実施すべきである。
 - 換気システムの基礎的データおよび材料の詳細を阿部委員経由で設計者に確認してもらい、計算条件を見直す。
 - 次回までに熱計算プログラムを作成して試算し、温度からの予測計算が実測と合うかどうか確認する。
 - ・ 資料 6-5 に基づいた議論の一部を以下に示す。
 - 2010 年 10 月 11 日～12 月 5 日の期間について、温度・相対湿度・絶対湿度の全測定点時系列データ、代表日の日変動データおよび温度・湿度。絶対湿度の分布についての概要が報告された。ダクト内外ともに、下部より上部の温度が高い。リビングの上下温度差は小さく、ダクト上部と同程度であった。
 - 測定時の窓開閉状況および台所排気に関する質疑応答があった。
 - ・ 今後の分析の分担について
 - 換気計算（山中主査）
 - 設計資料に関する問い合わせと整理（阿部委員）
 - 解析用住宅モデルの提案（桃井幹事）
 - 解析用モデルを用いた解析（小林委員・安福委員）
 - 最近の建築物換気に関する実態（古賀委員）
 - 24 時間換気利用実態に関する調査（東幹事）

報告： 空気環境部会 23 年度部会費が 60,000 円で決定したとの報告があった。

次回部会 日時：5 月 13 日（金）17:00~19:30

場所：近畿支部会議室

内容：各委員からの話題提供および 24 時間自然換気住宅の解析

以上